



福島小学校の取り組み

一人一人の子どもたちに意味のある『キャリア教育』を！

「子どもたちに『夢や希望を持つことのすばらしさ』を伝え、一緒に未来を拓くために」
福島小では、子どもたちが自分の良さや頑張っていることに目を向けたり、自分らしい生き方、あこがれの職業などを探求したりする「キャリア教育」を行っています。

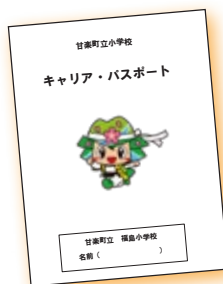
福島小学校
校長 新井綱人
児童 152人

キャリア教育とは？

子どもたちが社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育です。

キャリア・パスポートとは？

子どもが、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりできるように活用しているファイルです。子どもと周囲の大人が、一人一人の中に芽生えた小さな気付きを積み重ね、振り返ることで将来の生き方を考えるきっかけへと膨らませていくツールです。



- 子どもたちが将来を考えるきっかけにするために
- 子どもたちがなぜ学ぶのかを考えるために
- 子どもたちが自立できる力を身につけるために

3年 社会科「農家の仕事」

▼きゅうり農家などを見学



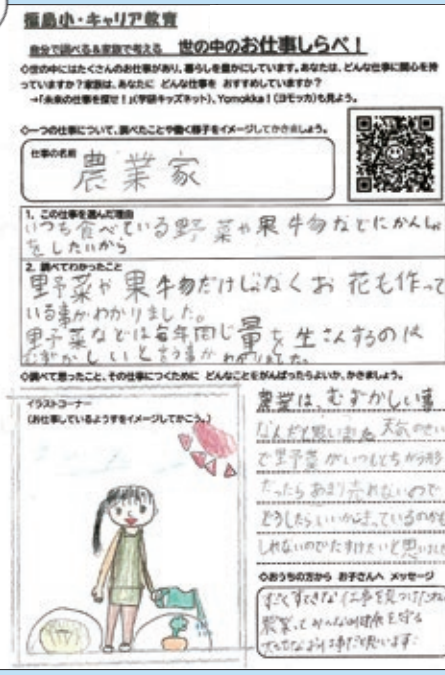
▼学んだことはグラフィックデザインツール【Canva】を使い形に！



全校で毎年実施！
世の中のお仕事しらべ！

4年

家族と一緒にいろいろな仕事について考えた児童の作品



1年

「アイデム写真コンテスト
はたらくすがた」

夏休みに家族の協力のもとに「身のまわりで働く大人の姿」を撮影してコンクールに応募しました。応募作品を見ると、「パパ、ママの職場体験をした子」「おじいちゃん、おばあちゃんの働く姿をカメラに収めた子」が多くいました。



身近な人が仕事をしている姿に接して「かっこいい！」「仕事をしているのが楽しそう！」というコメントを添えている子が多くいました。

2年

生活科「まちたんけん」

地域に出かけて、いろいろなお店や施設を探検しました。

どんな思いで働いているのか、どんな工夫をしているのかをインタビューしたり見学したりするなかで、低学年なりに「働く意義」を感じ取ってきました。



写真店を訪問

教育相談室

◆問い合わせ
教育課学校教育係
☎(64)8323

やマインドフルネス、呼吸法をしたり、自律神経からだを整えていくこと、自分自身を調整することが大切だと思えます。お子さんたちとお話させていただくと、セルフケア「自己調整」に取り組んでいるお子さんもいます。

でも、その真面目さゆえに「みんなにどう思われているのかな」「もっと〇にしくちゃ」「自分がいけななんだ」など自分自身にプレッシャーをかけてしまい、つらくなっていることも少なくありません。

毎日のストレスとどう向き合っていくのか、どう関わっていくのか…自分をいたわる「セルフケア」が大切な今日だと感じます。考え方(頭)を変えることはなかなか大変だけれど、自分の好きなことをしたり、ヨガ

5年 絵本作家 せきぐちひろみさんのお話

初めて絵本作家さんの仕事の話を知りました。好きなことをずっと続けていて、かっこいいと思いました。絵本づくりで実際に銭湯へ取材に行き、細かいところまで描いたり、下描きのラフ画や仕事場の様子も見せてもらったりして、本づくりに興味を持ちました。



僕が決める未来



自分たちの生活を支えるさまざまな仕事について、仕事同士のつながりや役割の大切さに気づきました。私たちの生活を裏で支える、人のためになる職業の良さが分かりました。

「私、こんなにやってみたい職業があるんだ！」と自分でも驚きました。私たちの生活にはいろいろな仕事関わっていて、一つでも欠けると生活が成り立たないと思いました。働く人へ感謝したいと思いました。

6年 ハローワークの出前授業



▲歯科医師や歯科衛生士を体験

今回の体験で将来の仕事の方向性、仕事の楽しみなども分かって少し期待がわいてきました。

6年 修学旅行「キッザニア」での体験

「これ気になる」「どんな職業なのかな？」と思っていた職業を知ることができました。カーデザインで窓や車の形を作ったとき、かなり難しかったです。本物だともっと大変な苦労をすると思うから、すごいなと思いました。パン酢工場の体験をしたときには、発酵食品のメカニズムや作り方など科学に関することをたくさん知りました。それぞれの体験でお金を払ったり貰ったり、銀行に預けたりしたので、お金の使い方の勉強もできました。